

みんなのぎかいだより

題字：魚川小学校

4年 矢吹 碧唯さん



9
月
定
例
会

令和3年度

決算など可決! ... 2~3

一般質問に5議員登壇 5~10

どうなったっぺ一般質問 11

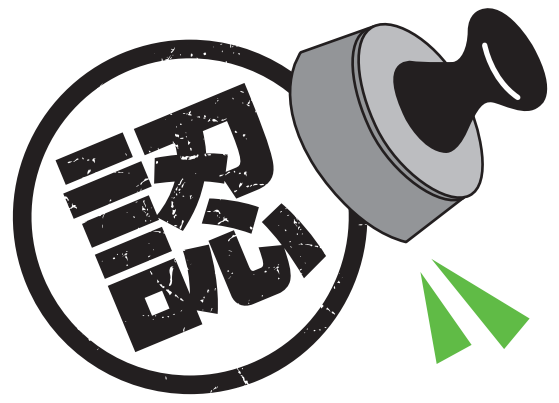
ふるさと魚川への想い 12

会計別決算状況

会計別	歳入	歳出	採決の結果	
一般会計	39億7867万円	37億4910万円	全員賛成	
特別会計	国保事業勘定	4億1278万円	4億1195万円	全員賛成
	直診勘定	5981万円	5275万円	全員賛成
	簡易水道事業	1億5797万円	1億5263万円	全員賛成
	村営バス事業	1113万円	1058万円	全員賛成
	集落排水事業	3608万円	3463万円	全員賛成
	介護保険	5億2319万円	4億6512万円	全員賛成
	学校給食センター	9565万円	9388万円	全員賛成
	後期高齢者医療	3758万円	3750万円	全員賛成
合計	53億1289万円	50億818万円		

主な事業(一般会計)

高齢者総合福祉センター内抗菌対策工事 (令和2年度繰越分)	245万円
高齢者総合福祉センター備品購入 (抗菌テーブル・空気清浄機) (令和2年度繰越分) 63万円	地域活性化起業人負担金 280万円
鮫川歯科診療所運営事業補助金 300万円	
地域げんき商品券 発行事業 3243万円	ドライブインシアター 実施委託業務 346万円
村道橋梁点検業務 1157万円	



9月定例会の あらまし

令和4年第6回議会定例会は、9月14日から21日までの8日の会期で開催された。
今定例会は、報告1件、条例の一部改正や補正予算のほか、令和3年度会計の決算認定、人事案件など24議案と、議員発議による意見書の提出1件が審議された。また、一般質問では5名の議員が登壇し、様々な問題を取り上げ、村政について質しました。提出された議案は、全て原案どおり可決・同意しました。

令和3年度
決算

黒字決算を認定

健全化判断比率 **良好な状態**



監査委員による審査状況

補正 予算 一般会計

マイナンバーカード取得促進や 村道維持補修工事の充実

会計別補正予算

会計別		補正前の予算額	補正後の予算額	採決の結果	
一般会計		30億700万円	32億7655万円	全員賛成	
特別会計	国保	事業勘定	4億2192万円	4億2490万円	全員賛成
		直診勘定	5772万円	6222万円	全員賛成
	簡易水道事業	9358万円	9927万円	全員賛成	
	村営バス事業	970万円	1025万円	全員賛成	
	集落排水事業	4517万円	4679万円	全員賛成	
	介護保険	4億7897万円	5億3934万円	全員賛成	
	学校給食センター	9392万円	9569万円	全員賛成	
	後期高齢者医療	4010万円	4018万円	全員賛成	

主な事業(一般会計・歳出)

積立金	財政調整基金	1億738万円
	公有施設整備基金	3013万円
	教育施設整備基金	5000万円
	マイナンバーカード申請受付支援業務	100万円
	投票所入口用スロープ購入事業(青生野村民体育館)	53万円
	朝日山登山道整備事業	110万円
	村道維持補修工事(官代内ヶ竜線他9路線)	1000万円
	道路改良等設計業務(菅ノ目地内河川護岸工事)	220万円
	道路等改良工事(戸草地内河川護岸工事)	384万円
	公民館2階トイレ洋式化改修工事	135万円
	体育施設指定管理料	95万円

村道路線認定

国道289号バイパス工事により、県の管理から外れる区間の移管を受け村道として認定。

■関下大犬平線

起点 渡瀬字関下125
終点 青生野字大犬平299

人事

人権擁護委員の推薦

佐藤 文夫 (再任)

(赤坂西野・火打石)

◆任期

令和5年1月1日～
令和7年12月31日

教育委員会委員の任命

菊地 吉雄 (再任)

(渡瀬・下)

◆任期

令和4年11月1日～
令和8年10月31日

議員発議

衆議院議員小選挙区における地域の実情を踏まえた区割りの改定

国に意見書提出

「1票の格差」を是正するため、人口比例を重視して議員定数を配分する「アダムズ方式」により、小選挙区の10増10減を含む25都道府県140選挙区の新たな区割り案を勧告。これにより、本県は現行の5選挙区から4選挙区に「1減」されるとともに、すべての選挙区で大規模な再編となる。福島3区だった白河市、西白河郡(西郷村を除く)、東白川郡においては、会津地方を中心とした従来の福島4区へと統合され、新たに福島3区となる見直し案が打ち出された。

見直しにおいては、経済圏や生活圏、広域的な行政圏の結びつき、地域の歴史的な沿革や地勢状況等の事情を考慮するとともに関係自治体の意見を十分に尊重することを強く国に求めた。

議案
調査

現地調査で 事業実績などを検証!

令和3年度の事業実績や、今年度の各事業について各常任委員会による
現地調査を実施し、現状を確認しました。



鮫川小学校 校舎屋根塗装工事



鮫川中学校 校舎3階廊下 天井修繕工事



村民保養施設 薪ボイラー更新工事



防災ヘリ 離着陸場整備工事



鹿角平観光牧場 排水路整備工事



酒垂消防車庫 新築工事

議員5人が登壇ズバリ!! 村政を問う!



P 6

北條 利雄

- サニタリーボックスの設置
- 道路施設の管理
- 行政施策評価



P 9

遠藤 貴人

- 小中一貫教育



P 7

関根 浩治

- 農業資材高騰対策
- 畜産事業支援



P10

前田 武久

- 公共施設の貸与



P 8

森 隆之

- 鮫川うまいもの祭り
- ふくしま駅伝

一般質問は、議員の日常活動を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

出席議員

議事の進行



星 一彌 議長



宗田 雅之 議員



前田 雅秀 議員



関根 英也 議員



堀川 照夫 議員



北條 利雄 議員

問

サニタリーボックスの設置を問う

答

設置を順次拡大する方向である



男子個室トイレへの設置が高まるサニタリーボックス(別名=トイレポット)

質問

前立腺がんや膀胱がんなどの増加に伴い、男性で尿もれパッドを着用する人が増えている。公共施設への男性用個室トイレへの尿もれパッドが捨てられるごみ箱、サニタリーボックス(別名・トイレポット)を男性用個室にも設置していくべき。施設の実情に応じ、個室のうち少なくとも1か所はサニタリーボックスを設置し、表示についても検討すべきである。設置は、施設側にとっても衛生管理の面でのメリットがある。清掃される方、処理される方への配慮も必要。村のサニタリーボックスの設置状況と設置の考えを問う。

答弁(村長)

鮫川村職員提案制度により職員から設置の提案が出された。当面は役場庁舎、公民館、手・まめ・館に設置し順次拡大を図る方向である。表示は、いずれの個室にもしておらず、今後表示する。各行政区の施設は、ごみは持ち帰ることを基本としており、男女トイレとも設置していない。設置後における清掃や管理の問題もあり、不特定多数が利用する施設については、設置についての理解を求めていく。

答弁(教育長)

指定管理の施設は、管理主体に設置の要請をし、設置を進める。学校の児童用、教職員用トイレ、女子用トイレには設置されているが、男性トイレには、設置されていない。病気を持っている子供や教職員に配慮し、相談をしながら設置の方向を考える。

問 道路施設の管理を問う

安全な道路の維持管理と計画的な整備、更新に努める

質問

多くの情報を提供している道路施設の道路標識・標示物、道路標示は、自然劣化や直接磨耗など視認性や視線誘導等の機能が低下し、交通事故を招く危険性が懸念されるもの。公共物の老朽化が甚大な事故を招く危険性が高く、早急な点検、補修が求められる。管理する道路施設の標識・標示の維持管理と定期点検の実施状況。国県道の管理者と緊密な連携を図り相互に情報共有し、道路標識・標示が適正な維持に努めるべき。これらの情報共有状況と道路の除草後の処理と側溝の清掃状況を問う。

答弁(村長)

管理する道路の老朽

化が進む中で、様々なご指摘、ご要望があり、限られた予算の中で快適な生活環境の維持のため、安全な道路の維持管理と計画的な整備、更新に努めている。維持管理も、村や県の道路パトロール、警察署の警らにより定期的に確認され、緊急性や修繕を要する案件を踏まえた情報提供とその応答により協議を図っている。除草した草木や側溝の清掃は、安全な道路の維持管理や生活環境に支障のない対策を検討する。

問 行政施策評価を問う

時代に合った行政施策の発展に取り組む

質問

行政需要や行政施策もしなやかに変化する。村民一人ひとりの、「新しい幸せ」を追求していく必要がある。自然環境に恵まれた地理

答弁(村長)

基本目標に村民の幸福度向上を位置づけている。幸福度の尺度は、おおむね経済状況、健康状況、人間関係、生活環境などが充実していることが条件。村づくりは自助・共助・公助の精神。目的は村民の幸せの実現。事務事業の評価を通して、職員意識改革を含め、村民が求める質の高い行政サービスを提供していく。意識を醸成し、政策能力の向上に結びつけ、時代に合った行政施策の発展に真摯に取り組む。



関根 浩治 議員

問 農業資材価格高騰対策について

答 肥料高騰緊急対策事業を県へ要請中

質問

農業資材価格高騰対策について、コロナ過とロシアのウクライナ侵攻の影響長期化で、資材価格高騰、農業経営回復支援を問う。

答弁(村長)

農業資材高騰対策について、福島県肥料高騰緊急対策事業の助成で、稲作・転作物対象で、水稲10a当たり500円・転作物1500円で、総額229万1千600円県へ要望申請中。

再質問

各自治体で、物価・肥料資材価格高騰、農業

者元気アップ支援事業等を創設し対応しているが、当村の事業支援を問う。

答弁(村長)

国、県の支援策を勘案しながら、本村の水稲・畜産・野菜等に見合った支援を今後検討する。

再質問

化学肥料価格高騰対策から地域資源活用、肥料転換支援策として、堆肥センターの有機質堆肥活用助成事業策を問う。

答弁(村長)

循環型農業の有機質

堆肥生産と稼働により、緑の食料システム戦略への支援を検討する。

再質問

化学肥料低減に向け取り組む農業者の肥料費支援事業は、令和4年6月から令和5年5月までに購入した肥料が対象で、7割の支援金交付、村のホームページで申請手続の掲示を問う。

答弁(村長)

化学肥料2割削減した農家対象で、制度活用、情報収集と農家への、周知をしたい。

答弁(村長)

優良肉用繁殖雌牛導入事業の貸付限度額を引き上げるとともに、畜産クラスター計画、畜産ヘルパー制度、担い手対策等の畜産振興について、関係機関・畜産農家と協議し総合的に調査検討する。

再質問

畜産クラスター計画についての進捗について問う。

答弁(村長)

畜産クラスターは、和牛繁殖、養豚、養鶏、酪農、和牛肥育等の幅広い畜産振興を図る、国・県の補助事業で持続的な経営を行う。今後勉強会や懇談会を開催し、有利なクラスター計画の立案を図り農業の振興を進める。

再質問

優良肉用繁殖雌牛導入事業の100万円の事業費拡大の進捗について問う。

答弁(村長)

繁殖農家担い手からも、増額要望があり条例の改定を進め要望に務める。

再質問

畜産クラスターは、あるもので村おこしを図り、視察者や交流人口拡大での地域経済活性化を問う。

答弁(村長)

起業には、計画・立案・実施を誰がやるかで、この制度を上手く活用して行けるよう関係者、組織行政、団体等と連携し事業を進めることが望まれる。

再質問

国の助成制度を活用し、ある資源を起爆剤として村おこしを計画・立案するトップマネージャーメントを問う。

答弁(村長)

産業の振興は村の命であり、一次産業とされる農業は村の基幹産業で、これからも農業振興に支援をしていきたい。



肥料資材の価格高騰

次のページは

一般質問 森

隆之議員・遠藤貴人議員



森 隆之 議員

問

「うまいもの祭り」に一区切りつけて、新たな仕掛けづくりをしてはどうか？

答

若者の力を借りて 新たな仕掛けづくりをしたい

質問

コロナ感染状況が終息しない状況下において、村の様々なイベントが規模縮小や中止になっている。その中でも3年連続で「鮫川うまいもの祭り」が今年も中止となった。こういった状況を踏まえ、うまいもの祭りを今後、従来どおりの規模や内容で開催すべきか。時代に即した形で内容をリニューアルするべきか。この機会を機に新しいイベントを考えるべきか。村の考えを伺う。

答弁(村長)

高原の鮫川うまいもの祭りは、昭和63年から商工会、JA、村が一体となつて取り組んでいる本村の一大イベント。新型コロナウイルスの流行により、令和元年度の第32回目の開催を最後に令和2年度から3年連続で中止の決定を余儀なくされた。いまだ終息が見えないコロナ禍において、イベント開催の在り方についても見直す機会であると捉え、



コロナ禍のため3年連続中止となつたうまいもの祭り

開催の目的、必要性、費用対効果など、今こそ原点に立ち返つて検証する必要があると考えている。

再質問

村長の意向として、うまいもの祭りは一区切りつけて、次世代の若い人やその他の意見を聞きながら、新たな仕掛けづくりをやつていきたいということか。

答弁(村長)

新たにスクラップ・アンド・ビルド、一回ゼロにした段階で皆さんの立案を聞きながら考えていきたいと思つている。

問 ふくしま駅伝に参加する意義や目的は何か

答 青少年の健全な育成・郷土愛の醸成など

質問

昨年ふくしま駅伝は、残念ながら急遽、参加を取り止めということになった。今年も参加の予定であると聞いているが、そもそもこのふくしま駅伝に参加する意義があるのか。村として、参加する目的や方針とは何なのか教育長に伺う。

答弁(教育長)

ふくしま駅伝は、県内のスポーツの振興、市町村のふるさとおこしを目的に、平成元年に始まつた事業で、今年で34回を数える大会。村の体育協会、現在の村スポーツ協会になるが、そこで実行委員会を組織し、鮫川チームの編成から選手の強化を目的として大会に参加してい

る。小さな村でも大きな夢と故郷への思いをたすきでつなぐことによつて、世代間の交流も生まれ、青少年の健全な育成、駅伝競技参加機会の提供、村民の郷土愛の醸成などに大きな役目を果たすものと考えている。

再質問

参加目的がこれといつて明確なものが見えてこないというのが残念。費用の面では、ふくしま駅伝の実行委員会の今年度予算は171万円計上されている。昨年は出場しなかつたにもかかわらず117万円支出されている。他のスポーツと比べると、野球は予算14万円。ソフトは予算13万

円。この予算だけを見ると、ふくしま駅伝にここまで経費をかけてやる意味があるのか。

答弁(教育長)

出場することによつて、先ほど言ったようにスポーツの振興とふるさとおこし、そして中距離選手の育成と強化という大きな目的がある。実際、陸上競技は、ユニホームは毎年同じものを使つているが、ウインドブレーカー等、一人一人に贈与しているため、必要な経費はやはり高いのも事実。ただ、これも村民の税金で賄つているので、今後、費用負担がかからないような方向をしつかりと考えていく必要もある。



村の代表で走る「ふくしま駅伝」



遠藤 貴人 議員

問

学校教育を中心とした 複合施設の必要性を感じている

答

公共施設整備計画を 立案しながら意見を求めたい

質問

全国的な少子化による学校の統廃合が進み、問題を解決するため、各自治体が小・中学校の教育を一貫させようと取り組んだものが、大きな成果を上げた。これを受け、2016年度に文部科学省が正式な制度として掲げた小中一貫教育だが、こ

れに向けて以下の点に問う。

- ① 学校施設を建て替えるための基金積立てが行われているか。
- ② 令和3年度は計4回の学校教育検討委員会が行われたが、令和4年度の計画は。



県内初の義務教育学校「郡山市立西田学園」

③ 鮫川村公共施設等総合管理計画では、鉄筋コンクリート構造の建築物は耐用年数が60年と定められている。こどもセンター、小学校、中学校、それぞれの築年数は。

④ 新校舎建築の候補地は選定されているか。

答弁(教育長)

① 現時点で、建て替えを目的とした積立てはしていない。しかし、改修や修繕等に活用するための教育施設整備基金は積み立てている。

② 今年度は5回の委員会を開催する予定。小中一貫校について、さらに議論を深めるとともに、イメージを具体化し、最終的には提言として取りまとめた。

③ 西野小学校として建築されたのは平成7年。今年で築27年となるが、平成17年に大規模改修を行って、こどもセンターを開園した。鮫川小学校は昭和56年に建築され、築41年。

鮫川中学校は昭和46年に建築され、築51年となり、あと9年で60年を迎える。

④ 校舎を建築する候補地について、現時点で決まっていない。しかし、学校教育検討委員会では、村の中心部、修明鮫川校跡地などの意見が出ている。

再質問

現在の教育施設整備基金残高はいくらか。

答弁(教育長)

令和3年度末現在、5億7000万円。

再質問

農業者トレーニングセンター、プール、公民館、ひだまり荘、歴史民俗資料館など全ての施設が老朽化している。

義務教育学校、こども園を中心としながら、文化センター、体育施設、公民館、図書館、高齢者施設などを併せた複合施設の必要性を感じている。

答弁(教育長)

人口が少ない中でも、多くの人と関わることでできる施設が必要という意見は、学校教育検討委員会でも出ている。

本村には学校を含めて、たくさんの公共施設がある。今後、公共施設整備計画を立案しながら、村民に意見を求めたい。

再質問

教育制度は重要な案件であるがため、知らないままに議論できない現状があるのでは。大きな成果を上げていく先進校が県内外に存在する。理解が深まれば、議論も深まるのではないか。

答弁(教育長)

県内でも既に、義務教育学校が設置されている。今年度、検討委員会での先進校視察を実施したい。

次のページは

一般質問

前田武久議員・どうなったっぺ？あの一一般質問



前田 武久 議員

問 公共施設、無償貸与の見直しを

答 今後協議を重ねていく



貸与施設

質問

公共施設の貸与について

約一億円を投じ、民間の旅館を買収、公設民営として開設した屋号「結び」。貸与契約5年間の経営実績を注目している。貸与開始から2年弱となるが、村が村民の期待に沿うべく運営を引き継ぐ協議を開始されているものと思われるので、施設管理責任者としての今後の運営方針を伺う。

答弁(村長)

温泉旅館は、令和3年

再質問

3月17日付けで、令和8年3月31日まで、公有財産無償貸付契約を締結。土地、建物、物品「93品目」を無償貸与。事業者は貸付物件の維持保全義務を明記している。

村は経営者と懇談する機会を設け、経営状況を聞き、地場産品の活用や、村主催の事業への協力を求めていく。

再質問

経営内容等を今後協議していくとの答弁であるが、全然されていないことか。

答弁(村長)

経営内容、決算関係、私はまだ正直目を通してない。オープン当時、コロナ禍もあり経営が大変とは聞いている。

再質問

私が危惧するのは、令和8年契約更新の際、もし、経営者が村に返還となった場合の備え、現状を把握し自前の運営方針を検討すべき。

答弁(村長)

期限は5年で決算書は年度ごと作成であり、内容を拝見し、無償貸与の責任もあるので、行政としてできる指導、アドバイスをしていきたい。

再質問

無償貸与の中で建物、土地のほかに93付属物品目があり、そのほとんどが耐用年数5年の物、もし、村が経営となれば買い替え、建物の老朽化、改築費用の予算化等の計画を立てるのが執行者の責任、備え

答弁(村長)

が必要とのことで質問している。それとわが村で無償公共施設貸与数がほかにもあるが、施設名を挙げてほしい。

答弁(村長)

ほつとはうす、さめがわ歯科医院、「結び」の3箇所。

再質問

ほかに、すまいる、手まめ館、たい肥センターそして、村長が会長である社会福祉協議会に委託している施設も含まれると思うがどうか。

答弁(村長)

すまいる、ひだまり荘、さぎり荘、たい肥センターも貸与している。

再質問

7件以上の物件が無償貸与、そのうえ助成金まで支援、本村の自主財源が乏しく厳しい財政運営の中で、今後これらの無償貸与を検証すべき。見直しの時期にきており、協議すべきと思うが。

答弁(村長)

今後も見直すか施設の廃止、法人化として切り離すか検討する余地があるうかと思うが、今のところ考えていない。

再質問

村長の持論で、村民の幸福度を検証すること。貸与施設の中で、農産物の生産者、買い物弱者支援、住民生活に必要な医療施設等、村民が理解できる各施設の具体的な運営方針を示すべきと思うが。

答弁(村長)

結び以外の各施設、当然決算内容も見ていく。今後継続を図るべく皆さんと協議し支援したい。

再質問

再度確認したい。無償貸与施設に対し、今後の見直し協議されていくのか。

答弁(村長)

今後協議を重ねていきたい。

追跡!

第16弾

過去の一般質問が行政に反映されているか、その経過を検証します。

どうなったっぺ?

あの一般質問

質問・提言

現状、畜産経営環境を取り巻く状況は厳しいものがあり、今後も危惧される。持続的な経営維持の為に、畜産クラスター事業の取り組みと今後の実施計画を伺う。

令和2年3月定例会

答 弁

畜産振興策として、県、関係団体、生産農家と協議の上、計画を策定し、集落営農、担い手育成等に有利な事業を導入するため、早急に取り組む。

経過及び結果

畜産クラスター事業の取り組みの質問は後の(令和2年9月定例会)で再度進捗状況を質しているが、現状、計画案が示されていない。



*畜産クラスター事業 畜産農家をはじめ、地域の関係団体が連携、結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制づくり。

質問・提言

振興公社準備室が配置され、準備が開始されて何年も経過する。今までの経過と説明責任、今後の計画の方向性、事業実施の是非の説明責任を伺う。

令和2年3月定例会

答 弁

設立に向けて検討を幾度となく重ねてきた。仕様施策の具現化に向けた法人設立を目指している。総合的な改善策を計画的に実施し、法人化の時期を判断する。

経過及び結果

現状、振興公社の設立にむけて素案を検討中。



※定例議会での「一般質問」は「村民の皆様の声」や議員の「政策提言」を市政に反映できるひとつの手段です。質問した「政策提言がどのように検討されているか」を根強く検証していく事としています。

ふるさと鮫川への想い シリーズ④



宮原 和子 さん (旧姓 大平)
京都府京都市在住 (富田字反田出身)

◆プロフィール

【生年月日】 昭和25年3月2日
【1974年】 鮫川中学校卒業
【趣味】 旅行、ゴルフ、ウォーキング
【家族】 長男、二男



ふるさとと私

綺麗な水と山に囲まれた自然豊かな鮫川村富田地区で育ちました。小さな体で子供用の自転車で学校まで一日も休まず通い、小学校、中学校共に皆勤賞でした。それが自慢です。どこに行くのも歩いてました。おつかいで親戚の家までふるしき包みを持っていったとき、お礼に10円もらって帰れるのがとても嬉しかったのを思い出します。

野山には、山菜、あけび、山葡萄など食べる物がいっぱいありました。都会に出て山菜が良い値段で売られているのに驚かされました。今は鮫川の妹から四季折々、山菜や地元野菜を送っていただいています。うれしい鮫川郵便局からの宅急便です。

食いはぐれがないからと言う親の一言がきっかけで理容の道に入りました。大きなチェーン店の会社で

埼玉県の熊谷店に配属され6年間修業、その後東京、縁あって京都に住んで50年余りになります。店を構えて48年、その間離婚もありましたが2人の子供を育てながら店は続けてきました。今は二男と一緒に店をやっております。近年はフェイスブックなどで鮫川の情報を知ることができ、お友達も出来て感謝しております。渡瀬地区にできた赤いベンチ、今度帰省



した折には是非座ってみたいです。
この度、このような形で鮫川村にかかわれた事、嬉しく思います。ふるさと鮫川への想い、生きてるかぎり延々と：今後は毎日、京都の賀茂川を1時間ウォーキング、好きなゴルフを楽しみながらバスでゆっくり京都観光を楽しみたいと思っております。

編集後記

ウイズコロナの新様式が模索される中、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻で、両国の衝突が長期に渡り、円安も加わっての原油・資材・穀物価格等の高騰は、生活に大きな影響を与えています。北朝鮮の度重なるミサイル発射も不安を増幅させています。

わが村の少子高齢化も予想を上回る速さです。各種計画のベースとなっている将来人口予測にも影響を及ぼし、これらを指標とする事業計画の見直しも必須です。課題山積みの状況下、議会も議決機関としての役割をしっかりと務めてまいります。

(広報編集委員)